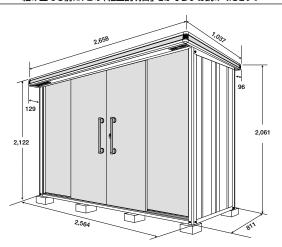
ヨド物置 エルモ 組立説明書 LMC-2508型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

設置場所の制限

⚠注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

組立施工の際には

⚠注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

〈施工にあたって〉

1. まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2. 基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
   ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×厚さ10cmのものが適当です。
3. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
4. 部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。（安全のため必ず手袋を着用してください。）
5. 部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
6. 部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

機種＼梱包	部品	前後材	左右材 一般	左右材 積雪	柱	補強 一般	補強 積雪	床	屋根	壁	壁	袖壁	鼻隠し	扉	棚板	計
2508型	LM4-0151	LM4-0205	LM3-0308	LM3-0309	LM3-0406	――	LM3-0591	6-711	LM3-0933	LM3-1015	LM3-1021	LM3-1004	LM3-1151	LM3-1705	LM3-1901	12(13)

※合計のカッコ内の数は、積雪型の梱包数を表しています。

梱包内容表

●部品

LM4-0151 部材名	数量
ELC OD下枠接続金具 前 右	1
ELC OD下枠接続金具 前 左	1
接続金具後	2
ELC棚受 N 右	2
ELC棚受 N 左	2
ELC床押え取付金具	5
ELC下レール取付金具	6
床押え金具③	1
屋根止結金具	17(1)
屋根止結金具KN	3
ELC間柱固定金具	4
ボルト(スプリングワッシャー付)M6×15	9(1)
工具キット04	1
壁パネル止結金具	49(1)
EL 上枠前連結金具	1
戸車上昇防止プレートOD	4
打込みアンカー(L=324)	4
アンカープレートL	4
ELC取手	2
ボルトM6×15(白)	157(5)
フランジナットM6	3(1)
組立説明書	1
取扱説明書	1
組立チェックシート	1
保証書(二年)	1
機種名ラベル	1
ソフトテープL=2560	2

●前後材

LM4-0205 部材名	数量
ELC下枠前OD-A3.5	1
ELC下枠後 A3.5	1
ELC上枠前 OD-A3.5	1
ELC上枠後 A3.5	1
ELC床押え後 A3.5	1
ELC下レール OD-A3.5	1
ELC扉支持材OD-E	2

●左右材

LM3-0308 部材名	数量
下枠側 A1 (94)	2
ELC上枠左 A1.0	1
ELC上枠右 A1.0 (「一般型」ラベル貼付け)	1

LM3-0309 部材名	数量
下枠側 A1 (94)	2
ELC上枠左 A1.0	1
ELC上枠右 A1.0 (「積雪型」ラベル貼付け)	1

●柱

LM3-0406 部材名	数量
ELC柱前・OD-右L	1
ELC柱前・OD-左L	1
ELC柱後L	2
EL間柱前L	2
ELC間柱後	3
ELC戸当り(M)L	2

●補強

LM3-0591 部材名	数量
ELC上枠補強OD-E	1

●床

6-711 部材名	数量
床板・A1	7

●屋根

LM3-0933 部材名	数量
ELC 屋根板 大 A1.0	1
ELC 屋根板 小 A1.0	6

●壁

LM3-1015 部材名	数量
ELC壁 L-A	5

LM3-1021 部材名	数量
ELC壁 L-F	1

●鼻隠し

LM3-1151 部材名	数量
ELC鼻隠し前 A3.5	1
ELC鼻隠し後 A3.5	1
ELC換気栓	2

●袖壁

LM3-1004 部材名	数量
ELC袖壁 L-E	2

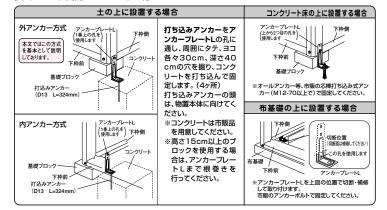
●扉

LM3-1705 部材名	数量
ELC扉右 L-E	1
ELC扉左 L-E	1
EL戸車プレートOD-E	2
扉施工説明書	1

●棚

LM3-1901 部材名	数量
ELC棚板 A1.0N	2

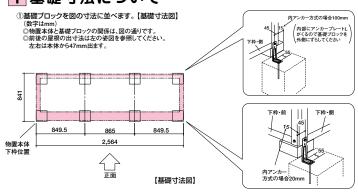
○部材名称にはA1.0、A3.5等の記号がついた部材がありますが、これらは部材の長さの記号であり説明書文中では省略しております。

アンカー工事は設置場所によって図のような方法があります。
強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

⚠注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

使用ビス一覧
ボルト（白）M6×15
ナットM6
ボルト（スプリングワッシャー付）M6×15

1 基礎寸法について

①基礎ブロックを図の寸法に並べます。【基礎寸法図】
（数字はmm）
◎物置本体と基礎ブロックの関係は、図の通りです。
◎前後の屋根の出寸法は左の姿図を参照してください。
左右は本体から47mm出ます。

2 下枠の組立

①基礎ブロックの上に図のように部材を並べます。
②**接続金具・後**に**下枠・側**および**下枠・後**を差込み、ボルト止めします。
③**OD下枠接続金具・前右**に**下枠前・OD**および**下枠・側**を差込み、ボルト止めします。左側も同様にして組立てます。

注意 水準器を使って基礎の水平を出してください。
基礎の水平が出ていないと扉がスムーズに開閉しない場合や、鍵がかかりにくくなる場合があります

※アンカー工事が内アンカー方式の場合は、**アンカープレートL**を**下枠・側右、左**に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。床板を並べる前に取付けてください。

ボルト 8本

3 柱の組立

柱前・OD右、左の下端を下枠の切り欠き孔に差し込みボルト止めします。外アンカー方式の場合、同時にアンカープレートLを下枠・側右、左に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。柱・後も同様に差し込みボルト止めします。

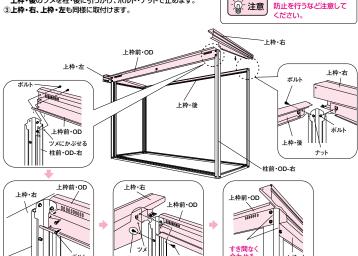
ボルト 8本

4 上枠の組立

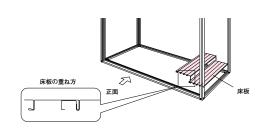
①**ソフトテープ**を**上枠前・OD**および**上枠・後**に貼付けます。

注意 ソフトテープはしっかりと貼付けてください。

②**上枠前・OD**を**柱前・OD右、左**のツメにかぶせて、ボルト止めします。**上枠・後**のツメを柱・後に引っかけ、ボルト・ナットで止めます。
③**上枠・右、上枠・左**も同様に取付けます。

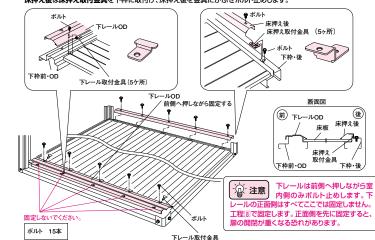
注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

ボルト白 16本、ナット 2コ

5 床板の組立

床板を一方の端（どちらからでもかまいません）から順に並べます。
重ね部分を図のようにミゾにはめ込み並べます。

6 下レール・床押え後の組立

下レールODと**床押え後**を取付けます。**下レールOD**は**床板**と**下枠前・OD**の上に載せ、庫内側のみ**下レール取付金具**でボルト止めします。
床押え後は**床押え取付金具**を下枠に取付け、床押え後を金具にかぶせボルト止めします。

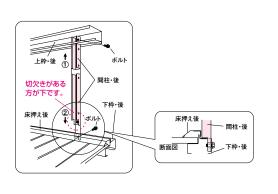
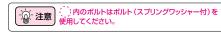
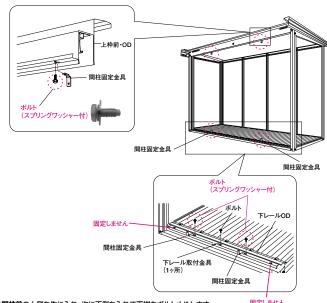
注意 下レールは前側へ押しながら室内側のみボルト止めします。下レールの正面側はすべてここでは固定しません。工程8で固定します。正面側を先に固定すると、扉の開閉が重くなる恐れがあります。

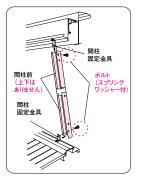
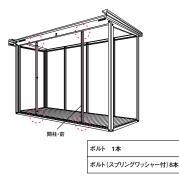
ボルト 15本

7 間柱後の組立

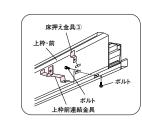
①**間柱・後**の上端を**上枠・後**に、差し込みます。
②下端を**下枠・後**に差し込んで上下共ボルト止めします。

ボルト 6本

8 間柱前の組立

注意 内のボルトはボルト（スプリングワッシャー付）を使用してください。

①**上枠前・OD、下レール・OD**（工程6で固定しなかった箇所）に**間柱固定金具**と**下レール取付金具**をボルト止めします。

②**間柱前**の上側を先に入れ、次に下側を入れて両端をボルト止めします。

ボルト 1本
ボルト（スプリングワッシャー付）8本

9 上枠前連結金具の取付け

①**上枠前連結金具**を**上枠・前**の中央に差し込み、**床押え金具③**とボルトで固定します。

注意 積雪型の場合は、上枠前連結金具と上枠補強を一緒にボルト止めします。（組立説明書10）

ボルト 2本

10 上枠補強の取付け（積雪型のみ）

①**上枠補強**を**屋根止結金具KN**とボルトで固定します。

ボルト　3本

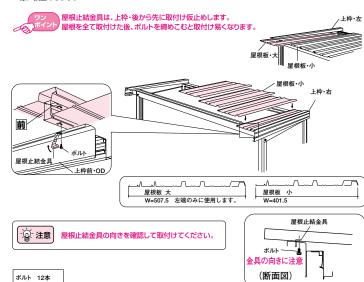
11 屋根板の取付け

①**屋根板**は、物置に向かって右端から**屋根板・小**を順に取付けて行き、（1枚目～6枚目）左端に**屋根板・大**（7枚目のみ）を取付けます。この時 前 のマークの入っている方を前にします。
②隣同志の屋根板の**角孔**と**上枠・後**の**角孔**に屋根止結金具（12ヶ所）を通しボルトで仮止めします。**上枠前・OD**も同様に仮止めします。

ワンポイント　屋根止結金具は、上枠・後から先に取付け仮止めします。屋根を全て取付けた後、ボルトを締めこむと取付け易くなります。

注意　屋根止結金具の向きを確認して取付けてください。

屋根止結金具
ボルト
金具の向きに注意
（断面図）

ボルト　12本

12 袖壁・壁パネルの取付け

①室内から**壁パネル（Ⓐ壁・Ⓕ壁の2種類があります）**をはめ込みます。下を先に入れて、上をはめ込みます。
②上下中央の3ヶ所を**壁パネル止結金具**でボルト止めします。柱前と固定する側面の箇所は壁パネル止結金具は使いません。柱後部と袖壁を固定する箇所は壁パネル止結金具でボルト止めします。
③**袖壁**は壁パネルと同様に取付けます。

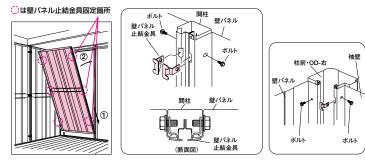
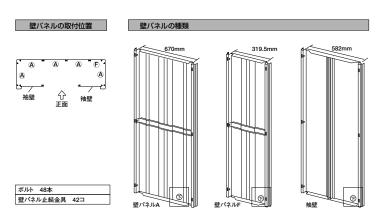
注意　壁パネル、袖壁は上下がありますので注意してください。壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の壁パネル止結金具の角孔が上下方向にずれる場合は、基礎の水平、本体の立ちを確認してください。

ワンポイント　壁パネルが取付けにくい場合、屋根止結金具のボルトを緩めると取付けやすくなります。

壁パネルの取付け位置

壁パネルの種類

表示のある方が下です。

ボルト　48本
壁パネル止結金具　42コ

13 鼻隠しの取付け

注意　オプショントイを取付ける場合は、「オプショントイセット」組立説明書を先にお読みください。

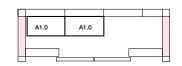
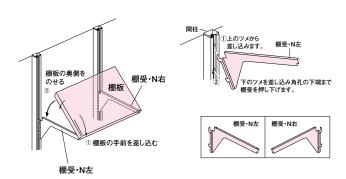
①**鼻隠し前**の両端を**上枠・右、上枠・左**に差し込み、ボルト止めします。
鼻隠しの中央を**上枠前連結金具**にボルトで固定します。
②**鼻隠し後**も同様に取付けます。
③**屋根止結金具**を使って**鼻隠し後**を**屋根板**にボルト止めします。

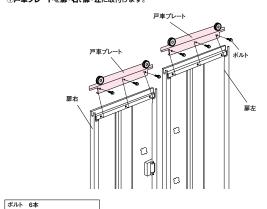
屋根止結金具（4ヶ所）
ボルト
上枠・右
鼻隠し後
ワンポイント
屋根板
下からまわしこんで取付けます。
鼻隠し前
上枠前連結金具

ボルト　14本
屋根止結金具　4コ

14 棚板の取付け

①**棚受**を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
②**棚板**を棚受の先端に差し込んでから取付けます。
（標準で棚板A1.0が2枚付いています。）

棚板が取付けられる位置

注意　の壁パネルには棚受けは取付けできません。

15 戸車プレートの取付け

①**戸車プレート**を**扉・右、扉・左**に取付けます。

ボルト　6本

16 扉支持材の取付け

①**扉支持材（OD）**を**扉右・左**にボルト止めします。

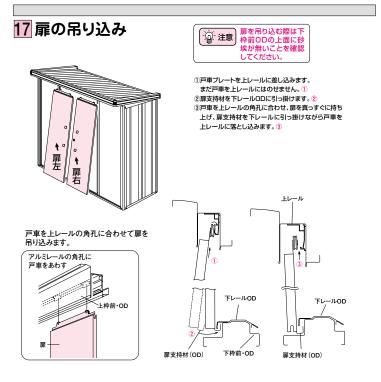
扉支持材（OD）の取付け方
ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。
ツメを差し込む
扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。

扉・右
扉支持材（OD）
ボルト

ボルト　6本

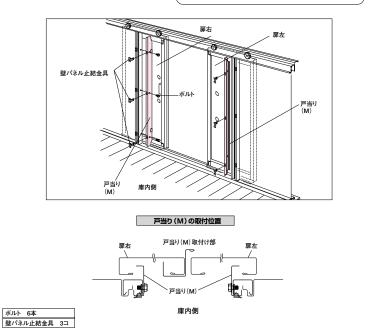
17 扉の吊り込み

注意　扉を吊り込む際は下枠前ODの上面に砂埃が無いことを確認してください。

①戸車プレートを上レールに差し込みます。
まだ戸車を上レールにはのせません。①
②扉支持材を下レールODに引っ掛けます。②
③戸車を上レールの角孔に合わせ、扉を真っすぐに持ち上げ、扉支持材を下レールに引っ掛けながら戸車を上レールに落とし込みます。③

18 戸当り（M）の取付け

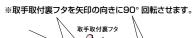
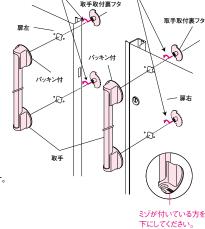
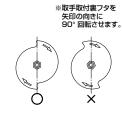
①扉右・扉左・袖壁を図のように重ねた状態で間柱前に**戸当り（M）**を開口部側に壁パネル止結金具でボルトで取付けます。

注意　扉を開閉した時、戸当りと扉（補強）が当たる場合は、戸当りを前後方向に調整してください。

ボルト　6本
壁パネル止結金具　3コ

19 取手の取付け

取手を**扉・右・左**に取付けます。扉を取手と取手取付裏フタで、挟み取手取付裏フタをT型スパナで90°回転させます。

※取手取付裏フタを矢印の向きに90° 回転させます。

注意　取手には上下があるので向きに注意してください。端にミゾがついている方を下に向けてください。

20 扉の建付けの調整

①扉を閉めた時図のように隙間ができるような場合や、隙間がなくても鍵のかかりにくい場合は、戸車プレートを固定しているボルト（**調整ボルト**）をゆるめ、（扉1枚につき3本）調整します。

注意　建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の立ちを直してください。扉の開閉が重い場合は工程6注意を参照してください。

21 その他の部品取付け

①取扱説明書に同封の対応する**機種名ラベル**を上枠左に貼ります。

注意　機種名ラベルは必ず貼付けてください。

③**換気栓（左右共通）**をはめ込みます。

※換気栓には前後があります。製品の内側にある刻印で確認してください。

②上枠・前ODに**戸車上昇防止プレートOD**を取付けます。（4カ所）

上枠・前
（室内側）
戸車上昇防止プレートOD
※はずす時は、左右のツマミを持って手前に引きます。

注意　戸車上昇防止プレートは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉がはずれる原因になります。又扉を外すときは戸車上昇防止プレートODを必ず取り外してください。

（2508）

（2008.2月制作）